

CBB通信

2017年10月号

●はじめに

皆様、お世話になっております。

CBBは今年2017年2月に一般社団法人に移行しました。事業計画や各報告書を書いていく中で「ニュースレターがないではないか！」ということに気が付まして、今回こうして第1回分を書くこととなりました。

実は月報のようなものはかつて試したことがあったり、構想はあったのですが、内容がどちらかというと企画もので「現地の様子をお伝えする」という内容ではありませんでした。

そこで今回、より現地のいまにフォーカスした月次報告をお届けできたらと思います。

●CBBスクールNOW

横浜市立大学本多史帆が3か月の任期を終えて帰国。10月後半からは長期インターン、元学校教員の勝間田が一人でスクールで奮闘しています。



●KDDIパソコン教室

10月は大阪の小学校とSkype交流を実施しました。



●住み込み成長記録

課題

住み込みを始めて2年になる18歳ボル、1年になる14歳チャンティーは健在です。ただやはり先生の時間になくなくなったり、日本語勉強の時間になくなくなったり。かつてより安定の難しさを感じていました。

解決策

→新しい住み込みのチョアン17歳を追加。今後合計6名になるよう地域で啓蒙活動を開始しました。

住み込みでは退学者の高3卒業を目標に、大学進学奨学金獲得に有利になるよう英語と日本語スキルを身に付けます。



●大学進学・雇用創出 プロジェクト最新情報



課題

10月1日よりゆっくり進みだした今年の大学進学支援。5年目ですが、昨年は失敗して一人も送り出すことが出来ませんでした。

解決策

→今年はその反省を活かして10~12月の入学前のケアにフォーカスし、現在3名がメコン大学に入学予定です。

課題

過去4年間はシェアハウスを大学進学者の退学予防支援として実施していました。しかし失敗が続き、予算をかけて続けるメリットが見えなくなっていました。

解決策

→その代わりに新しく生まれたのが「雇用創出プロジェクト」。CBBスクールで少し初めていた映像授業を「CBB Online School」としてユーチューブチャンネルを開設しました。

「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーにカンボジア人向けの日本語オンライン教育のパイオニアを目指します。



●理事の集い

現在、富田理事は開発勉強のためIDEASに参加しています。

IT関係の前(マエ)理事とは、理系学生向けにプログラミングブートキャンプを作ってはどうか、と提案をいただき、現在既存業務の合間に策を練っています。

●事務局員たちの日々

10月は事務局員を長らく勤めていた石出恵が就職のために事務局を去りました。

それに合わせて過去短期インターン生の地下智隆と川崎公美子が加わり、既存の常岡晴恵を筆頭に、現地の高橋昌祐樹と連携して、助成金提出や組織運営を続けています。

